

Public Information Furubira

2014[平成26年]



2月号

No.459

広
報

ふるびら

平成26年
成人式会場



子供の携帯電話は、親の責任で使用させる

中学生の4人に3人が携帯電話を所有

古平小学校で行われた、5・6年生対象の「安心講座」



携帯電話やインターネットの爆発的な普及に伴い、それらを誰もが手軽に使える時代になっています。しかし便利な反面、一歩、使い方を誤ると東京の三鷹市の女子高中生ストーカー殺人事件のような重大な事件に巻き込まれる恐れもあります。

このようなことから小中学校が昨年の11月25日、児童や生徒、さらにはその保護者を対象に「携帯電話インターネット安心講座（以下「安心講座」と表記）を開催しました。

今月号では、古平町の児童・生徒の状況や安心講座で、講師が何を訴えたのかについてお知らせします。

■中学校に進学すると携帯電話を持つ傾向にある

古平町の児童・生徒の学年別の携帯電話の所有率は表1のとおりです。学年が上がるにつれて携帯電話を持つ割合が高くなっており、小学生は2割弱、中学生は7割以上が自分専用の携帯電話を持っています。

現在の中1、中2はそれぞれ70・6%、72・0%が所有していますが、その生徒たちが小学6年の時の所有率は0・0%、20・0%でした。（それぞれの小学6年時の「学習状況調査」より）これらのことから中学校への進学を機に携帯電話を所有する傾向にあるようです。

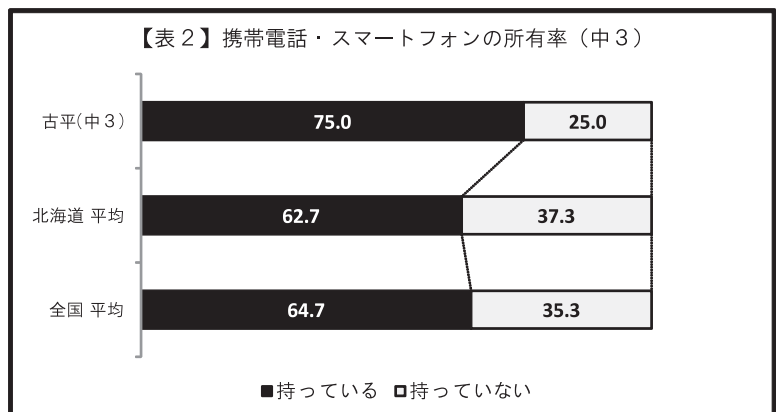
【表1】携帯電話の所有状況調

	学年	全人数	所有者数	所有率
小学校	1年	14	2	14.3%
	2年	21	6	28.6%
	3年	12	1	8.3%
	4年	15	0	0.0%
	5年	17	3	17.6%
	6年	20	6	30.0%
	計	99	18	18.2%
中学校	1年	17	12	70.6%
	2年	25	18	72.0%
	3年	18	15	83.3%
	計	60	45	75.0%

※所有者数はH25.10月末現在

また、中学3年は83・3%が所有していますが、平成25年の学習状況調査によると全道平均は62・7%、全国は64・7%と若干、古平の方が高い傾向にあります。（表2参照）

【表2】携帯電話・スマートフォンの所有率（中3）



※表1と所有率が一致しないのは調査期日が違うため

■親とすぐに連絡が取れるため携帯電話を持たせている

持つことの賛否は別として、なぜ携帯電話を子供に持たせているのかを数人の保護者へ質問したところ、小学6年の女子児童の母親は「親が仕事をしているため、すぐに連絡が取れるように持たせた」と、中学1年の女子生徒の母親は「中学生になり、部活の仲間や友達同士で町外に出かける機会が増えたため、すぐに連絡が取れるように持たせている」と応えてくれました。全

員からアンケートを取ったのではありませんが、大きな理由は「親とすぐに連絡が取れるように」と考えられます。

一方、持たせていない保護者の意見等としては、小学5年の女子児童の母親は、「町外に通学するようになる高校生までには必要ないと考えている」と、中学3年の女子生徒の母親は、「子供と話し合った結果、必要ないということになった」と話してくれました。

■インターネットも多くの子供が使用している

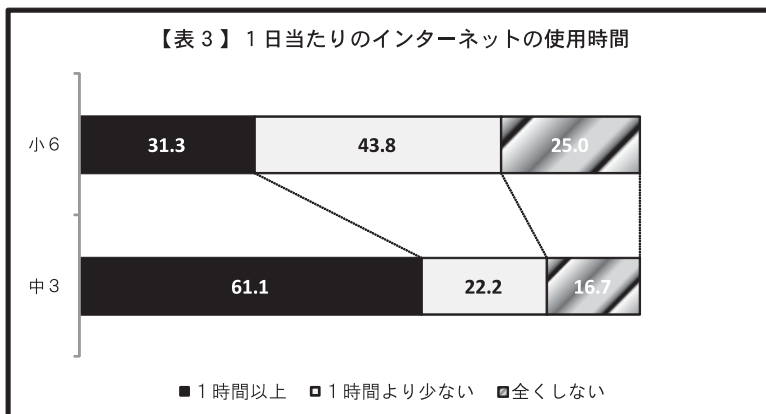
平成24年の学習状況調査によると小学6年の75%以上が、中学3年の83%が何らかの形でインターネットを使用しているという結果が出ています。

(表3参照。平成25年調査では、インターネットの使用時間に関する調査は行われていません)

また25年の学習状況調査では、「学校の授業で本やインターネットを使い、グループ学習をすることがあるか」という質問に対し、小学6年の94・8%が、中学3年の56・3%が「ある」と回答しています。これらのことから、キーワードを入力すると、調べたいことがすぐに分かるインターネットも児童・生徒の多くが使用していることが分かります。現在は多くの携帯電話でも、インターネットを利用することが

出来るため、その使用率が高くなっていくと考えられます。

【表3】1日当たりのインターネットの使用時間



■個人情報の流出や不当請求、ネット上でのいじめなど、トラブルは多数である。これだけ便利で誰もが気軽に使用できる携帯電話やインターネットが、どうして危険なのか？よく聞くこととしては、無断で友達の写真や本人を特定できる情報をインターネット上に載せる個人情報の流出や、インターネットの掲示板への悪口の書き込み、有害サイト(アダルトサイトなど)

を見たことによる不当な請求詐欺などです。ショッピングな出来事としては、インターネット上で知り合った人が、素性をすべて偽り、最終的にはストーカーとなり、交際相手を殺してしまうような事件も発生しています。

11月に開催された安心講座では、講師は「インターネットは便利なものだが、そこにある情報がすべて正しいと思わないこと。正しいか、正しくないかをきちんと判断できる力を身に付けること」、「インターネットは便利な反面、危険とも隣合せであることを忘れないでほしい」と強く訴えていました。



■使用についてのルールを決める。最終的には親の責任で使用させる。

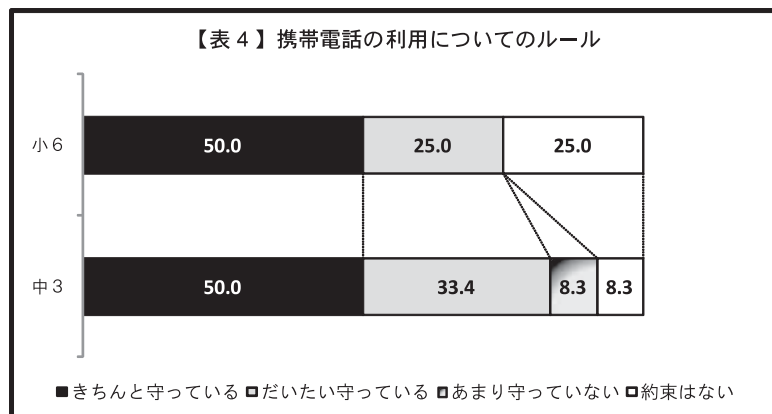
では、どのようにして気を付けなければいけないのか？講師は子供たちが正しい情報を見極める力がまだ未熟であることを踏まえ、親子で使用についてよく話し合う。具体的には、軽い気持ちで自分や友達の個人情報を載せない。親は子供の携帯電話等が有害サイトに繋がらないようにフィルタリングをかける。もし携帯電話などを使っていて、トラブルに巻き込まれたら、必ず親に相談する。親は子供

が誤った使い方をしないように、常に目を光らせることが必要と話していました。

携帯電話の使用にあたって、25年の学習状況調査では、ルールを決めていないと回答した割合は、小学6年で25・0%、中学3年で8・3%でした。(表4参照)

自分の子供が危険な目に遭わないためにも、「古平は都会のような事件は起きない」とは思わず、講師が訴えている「親の責任で使用させる」ということを再度、考えてみてください。

【表4】携帯電話の利用についてのルール



胸張って大人宣言!

平成26年成人式が挙行される

おめでとう



宣誓する坂下謙也さんと藤田菜摘さん

「成人の日」の前日の1月12日、文化会館で成人式が行われ、30人の新成人が出席しました。会場では、着物や袴姿などの若者が久しぶりの再会を喜び合い、晴れの日を祝いました。

式では、小田嶋竜子教育委員会委員長が「大人になったことを自覚し、大人になるといことは、どういうことなのかじっくり考えてほしい」と呼びかけていました。

新成人を代表して坂下謙也さんと藤田菜摘さんが「知性と教養に富んだ民主的的青年として、自己の完成に努めます」などと宣誓したほか、男



決意表明する新成人。右上：金子哲平さん。右下：内田ひとみさん。左上：斉藤京之介さん。左下：桐澤汐梨さん。

女各2人による決意表明も行われ、それぞれが「社会に出て壁に当たっても、これまで学んだことで乗り切ります」や「悔いのないよう一日一日を大切に過ごします」、「これまで育ててくれた両親に感謝します」などと堂々と発表していました。
懇親会では、ビンゴゲームやカラオケを楽しみ、幼小中の思い出の写真がスライドで上映されると、新成人たちは、懐かしい光景に歓声をあげていました。



(一列目左から) 藤田菜摘、小野寺汐里、上口沙記、佐々木博子、安在雪奈、逢見議長、本間町長、小田嶋教育委員長、苗代澤まな、桐澤汐梨、内田ひとみ、丸山紗佳、前川五月

(二列目左から) 伊藤拓志、山田佳明、立島玄希、本間ちさと、渡部友紀奈、菊地美里、布川陽子、小野原みち子、笠原美雪、土谷るみ、本間教育委員、白川教育委員、菊地教育委員、成田教育長、玉井耕平

(三列目左から) 佐々木貴尋、小林尚矢、水木裕哉、木村建太、熊木翔、渡部勝太、坂下謙也、菊地亮太、野村滉輝、工藤恭介、金子哲平、茂木剣吾、斉藤京之介、金子昌平

※敬称略

防災・防火への誓い新たに！

平成26年 古平消防団が出初め式



高野団長から本間町長への人員報告

町の出来事

北後志消防組合古平消防団（高野俊和団長）の出初め式が1月6日、文化会館で行われ、出席した団員20人が地域防災や防火への意識を新たにしました。

消防車輛など5台による町内パレードの後、第1会場である同会館前駐車場で団員の服装点検や高野団長から統監を務める本間町長への人

員報告などが行われました。氷点下の厳しい寒さの中でも団員はきびきびと行動していました。会場を文化会館太陽ホールに移してからは、功労消防団員の表彰などが行われました。（表彰者は左表のとおり）

本間町長は「町民の尊い命と財産を火災や災害から守ることが消防団と行政の使命である。これからも町民が安心して暮らせるよう頑張ってください」と激励しました。

式の終りには、高野団長が「町民の生命・財産を守るために団員が一丸となって防災・防火対策に努めた」と答辞を述べました。

平成26年古平消防団出初め式 表彰者

北海道知事 表彰	30年勤続	副団長	岩谷英春
		分団長	笠井信一
		副分団長	清水禪
		部長	木村敏秋
		部長	山田裕幸
		班長	渡邊祐士
	班長	大島敏昭	
20年勤続	班長	藤野雄一郎	
	団員	渡部清治	
	団員	小林努	
北後志消防組合 管理者 表彰	30年勤続	副団長	岩谷英春
		分団長	笠井信一
		副分団長	清水禪
		部長	山田裕幸
		班長	渡邊祐士
		班長	大島敏昭
	20年勤続	班長	真浦博
北海道消防協会長 表彰	30年勤続	副団長	岩谷英春
		分団長	笠井信一
		副分団長	清水禪
		部長	山田裕幸
		班長	渡邊祐士
		班長	大島敏昭
	20年勤続	班長	真浦博

※敬称略



表彰される功労消防団員



答辞を述べる高野団長

古平の子供は俊敏性や跳躍力が優れている

2013全国体カテスト

過去2カ年 全国体カテストの結果

		種目別平均記録								体力合計点(点)	
		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20Mシャトルラン(回)	50M走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)		
H25	男子	古平	19.00	19.91	31.73	39.64	45.45	9.68	155.45	24.73	53.82
		全道	17.32	18.69	32.28	39.56	43.87	9.67	150.66	23.55	51.99
		全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
	女子	古平	20.17	14.83	34.17	38.00	37.50	10.08	145.50	11.33	51.67
		全道	16.85	16.72	36.45	36.85	31.99	9.89	142.51	13.92	52.22
		全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70
H24	男子	古平	22.50	15.88	31.75	44.38	45.50	9.84	144.88	27.63	53.25
		全道	17.66	19.19	31.99	39.83	43.54	9.59	151.18	24.19	52.55
		全国	16.70	19.44	32.60	41.58	51.58	9.37	152.31	23.80	54.07
	女子	古平	23.82	15.55	36.36	40.73	39.18	10.03	144.73	19.91	56.73
		全道	17.14	17.26	36.10	37.06	32.35	9.82	142.87	14.24	52.95
		全国	16.23	17.92	36.68	39.23	39.89	9.64	144.84	14.25	54.85

※体力合計点は、種目別得点表より算出したものの合計点

文部科学省は昨年の12月14日、小学5年と中学2年を対象とした2013年度全国体力・運動能力、運動習慣調査(以下「全国体カテスト」

と表記)の結果を公表しました。今ページでは古平町の小学5年の結果などをお知らせします。

■小学5年を対象に、8種目の実技テストを行う

全国体カテストは、子供の体力低下が問題視されている状況を踏まえ、文部科学省が平成20年から全国の小学5年と中学2年を抽出して実施しているテストです。全国学カテストのスポーツ版です。

握力や50メートル走など8種目の実技テストと運動習慣などを聞き取る質問紙調査からなり、古平町では小学5年が調査対象となっています。

■「体力合計点」で男子は全道平均以上、女子は下回る
実技テストを点数化した「体力合計点」で古平町の今年の小学5年は、男子が53・82点で全道平均を上回り、全国平均を少し下回りました。女子は51・67点で、全道・全国平均を下回りました。(上表参照)

■走力・持久力が劣っている
過去2年の結果から古平

の子供は、「握力」が全道・全国平均を大きく上回っています。また「反復横とび」や「立ち幅とび」の結果から俊敏性や跳躍力が優れていることが分かります。

しかし、「50メートル走」や「20メートルシャトルラン」、「上体起こし」の結果から走力や持久力、筋持久力が、全道・全国の子供と比較すると劣っている状況です。

■学力だけでなく、体力向上にも努めなければいけない

今回の結果から、小学校では走力や持久力を高めるために、日常的に外遊びを促すことや、体育の時間などにシャトルランや5分間走を行っています。また、今年から全児童が参加する「全校マラソン大会」を開催するなどして、体力向上に努めています。

成田昭彦教育長は、「子供が健全に成長するためには、学力だけでなく、体力向上も必要である、そのため学校だけでなく、教育委員会としても体力向上のための取組みを今後より一層、充実させていく」と話していました。



第4回町議会定例会

12月19日に開会された第4回定例会では、町長による行政報告や教育長の教育行政報告が行われたほか、予算の補正や条例の制定など12議案等が審議されました。

行政報告（抜粋）



総務企画関係

▼防災無線（同報系）の整備

10月中旬から各家庭に戸別受信機を設置作業を進めているところであり、12月16日現在における進捗率は87・3%で、年明け1月末には工事完了予定となっています。その後、戸別受信機の取扱い説明会を開催し、2月上旬の供用開始へと移行させて

参りたいと考えております。

▼中央バス「積丹線」の赤字負担

平成25年度の赤字額が64万8千円と確定し、古平町の負担額が97万2千円と通知がされました。

税財政関係

▼町税収納状況及び収納率向上の取り組み

11月末における町税の収納率を前年同期と比較しますと、個人町民税で1・7%、純固定資産税では2・9%、都市計画税が3・1%、軽自動車税につきましては2・8%上昇して全体でも2・3%のプラスになっております。

収納率向上への取組みについては、平成24年度町税等収納率向上対策実施計画に関わる結果検証を行いながら、今年度においても同様計画を6月に策定して取り組んでいるところであります。

民生関係

▼福祉灯油購入助成事業

高騰する燃料費など冬期間に増加する費用に対処するための冬季生活

支援金、冬の給付金（福祉灯油購入助成）事業を実施します。対象者や給付額等は昨年度と変わりありません。

保健福祉関係

▼高齢者福祉

高齢者複合施設（高齢者住宅）につきましては、12月12日現在においては65%まで工事が進捗している状況にあります。

一人暮らし高齢者等に係る除雪サービスにつきましては、11月14日に地域ケア会議を開催し、前年度実績より12世帯減の42世帯について一次決定をしたところであります。

▼掖済会診療所の赤字全額負担

小樽掖済会病院附属古平診療所の無床診療化問題（入院の受入体制廃止）につきましては、経常収支赤字の全額町負担などの条件のもと、平成28年3月までは現診療体制が維持されることとなりました。

平成28年4月以降における本町の医療体制につきましても早急に方針を樹立しなければならぬものと考えているところであり、町民の方々の意向を把握しながら、早期の方針樹立を目指したいと考えております。

▼高齢者インフルエンザ予防対策

12月12日現在、65歳以上高齢者にあつては、対象者1425名の約56

%となる798名の方から申込みを受けております。

▼秋の住民健康診査

11月4日から2日間、文化会館と漁港会館の2箇所で開催した秋の健康診査は、44名（前年比16名減）の方が受診されており、春期と合わせ184名（前年比16名減）の方が受診されました。

また、特定健診を受けられた34名のうち、メタボ該当者は4名、予備群が3名、春期と合わせますと受診者128名のうち、メタボが16名、予備群が17名となったところであります。メタボ該当者は男女共に全国平均を下回っているものの、予備群では男性が全国推計を上回っている状況にあります。

産業・観光関係

▼植樹祭

10月26日に町営牧場内で開催され、アカエゾマツとマカバ計400本の苗木を82名の参加者の手によって植樹されました。

▼西の沢川予防治山工事

後志総合振興局発注工事であります同工事につきましては、測量・設計業務が終わって本工事の入札を実施したところ応募者がなく、来年度へ繰越して再度、入札を行う予定となっております。

▼丸山治山工事

北海道森林管理局発注の丸山治山工事（丸山御崎地区）の12月10日現在の進捗率は40%となっており、来年2月17日までの工期で工事が進められることとなっています。

▼水産物流通荷さばき施設

11月末現在の進捗率につきましては28%となっており、予定より1カ月程度遅れてはいるものの年度内の完成に向けて鋭意工事を進めているところであります。

▼磯焼け対策

浅海部会がコンブ養殖施設の設置や、石詰め藻場礁の設置に取り組んでいるところであり、更には中央水産試験場と協力しながらウニ除去による藻場造成についても調査を行っているところであります。

▼11月末漁獲状況

数量で2442ト（前年同期比78ト、3%増）、金額では8億6400万円（前年同期比1400万円、2%増）となっており、魚種別ではたこやえびが数量、金額ともに増加したことが要因であります。

▼温泉しおかせ、減少傾向に歯止め

11月末までの利用客数は対前年33人増の45、235人となっており、オープン後、一時的に増えた利用者数の減少傾向も歯止めがかかってきたのではないかと推測しております。

建設水道関係

▼除排雪業務

昨年度と同様に町内5事業者による共同企業体と11月12日に委託契約を締結し、除排雪体制の万全を期したところであります。

▼町の実施する工事

12月12日現在の工事契約及び進捗状況は左表のとおりであります。

▼住宅リフォーム補助金

申請件数は14件で351万2千円の申請額となっており、548万8千円が未消化となっております。

工事名	工期末	進捗率
清丘1号線配水管新雪工事	H25. 7. 31	完成
浜町清丘線配水管布設替工事	H25. 10. 31	完成
みどり公園遊具改修工事	H25. 10. 31	完成
7条通線・7条小路線配水管布設替工事	H25. 11. 29	完成
水道用水量器更新工事その1	H25. 11. 29	完成
水道用水量器更新工事その2	H25. 11. 29	完成
町道小学校通線歩道等整備工事	H25. 11. 30	完成
町道小学校通線舗装補修工事	H25. 11. 30	完成
丸山川河口護岸設計業務委託	H25. 11. 30	完成
沢江水路護岸整備工事	H25. 12. 10	完成
丸山通線防護柵改修工事	H26. 1. 31	10%
野村橋改修工事	H26. 2. 28	10%

教育行政報告（抜粋）



学校教育関係

▼学芸会と学校祭

10月4日に中学校で、同月20日に小学校でそれぞれ行われ、特に6年生の古平大火を題材に発表した創作劇「大火を越えて！天狗が呼んだ大漁」は、体験者から聞いた生の声を劇中に取り入れて表現するなど、感動的な舞台でした。

▼原子力防災訓練

10月8日、町内一斉に行われた原子力防災訓練では、小中学校の全児童、全生徒が町からの屋内避難指示に合わせて体育館へ避難する「屋内避難」の訓練を行いました。中学1年はバスに乗って小樽市へ避難する訓練に参加し、スクリーニングや除染を体験しました。

▼古中吹奏楽部、第38回定期演奏会

10月26日、中学校体育館で吹奏楽部の定期演奏会が行われ、クラシックやアニメソングなど全10曲が披露されました。

▼後志中学校北ブロック弁論大会

10月28日、余市東中学校で開催された、古平中学校からも2名が出場しました。「平等な社会へ」と「音楽は感情を超える」と題して熱弁しましたが、残念ながら入賞には至りませんでした。

▼後志中学校バドミントン大会

11月4日、余市町で行われた後志中学校バドミントン大会で男子ダブルス（大島・木村ペア）が準優勝し、1月11～12日に小樽市で行われる全道大会への出場権を獲得しました。

▼漁師さんによる出前授業

漁協青年部の方々が講師を務める出前授業が11月12日、中学1年を対象に行われ、生徒はカレイ刺し網漁やエビ籠漁について学びました。

生涯学習関係

▼ふるびら通学合宿

9月に行われた「ふるびら通学合宿」で、どれだけ学習習慣や規則正しい生活習慣が身についたかを確認するため、10月3～5日に2回目の通学合宿が行われました。子供たちの目標に向かって頑張っている姿を

審議された案件

確認することができました。

▼第38回ロードレース大会

10月14日の体育の日に開催されたロードレース大会では、1112名（町内258名、町外854名）の参加がありました。参加者は好天に恵まれた最高のコンディションの中で心地よい汗を流していました。

また歩く2^キを小学校前の多目的運動広場で折り返すコースに変更しましたが、混乱もなく無事終了しました。

▼自衛隊音楽隊オータムコンサート

芸術文化鑑賞事業として10月25日、陸上自衛隊第11音楽隊によるオータムコンサートを古平小学校体育館で行いました。300名の町民が迫力のある音色に酔いしれました。

▼第39回文化祭作品展示会

10月25～29日の5日間、文化会館太陽ホールで開催し、9団体18個人から出展がありました。

▼第46回文化祭発表会

文化の日の11月3日、文化団体連絡協議会に加盟する10団体が、会場に集まった265名の前で日頃の練習の成果を披露しました。

▼ハイミツシユコール記念演奏会

12月1日、女声コーラス「ハイミツシユコール」の第30回記念演奏会が開かれ、12名のメンバーが美しいハーモニーを披露しました。

審議された案件

〔議案第47号〕 原案可決

平成25年度古平町一般会計補正予算（第6号）

現行予算に2億6、266万4千円を追加し予算総額を34億8、984万円とするものです。主な内容は高齢者複合施設の設計変更や小樽掖済会病院附属古平診療所の有床診療維持に係る増額補正です。

〔議案第48号〕 原案可決

平成25年度古平町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

現行予算に4、973万2千円を追加し予算総額を2億5、084万5千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴う繰越金の増額補正です。

〔議案第49号〕 原案可決

平成25年度古平町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

現行予算に9万2千円を追加し予算総額を6、175万2千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴う繰越金の増額補正です。

〔議案第50号〕 原案可決

平成25年度古平町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

現行予算から225万4千円を減額し予算総額を1億9、374万6

千円とするものです。主な内容は、職員の人件費の減額補正です。

〔議案第51号〕 原案可決

平成25年度古平町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

現行予算から53万5千円を減額し予算総額を2億6、696万5千円とするものです。主な内容は、職員の人事異動に伴う人件費の減額補正です。

〔議案第52号〕 原案可決

平成25年度古平町介護保険サービス事業特別会計補正予算（第1号）

現行予算に584万4千円を追加し予算総額を4、544万4千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴う繰越金の増額補正です。

〔議案第53号〕 原案可決

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

平成26年1月1日から55歳を超える職員の昇給を停止するものです。

〔議案第54号〕 原案可決

古平町税条例の一部を改正する条例案

地方税法の一部を改正する法律に基づき、年金所得者の町民税特別徴収の見直しと、株式等に係る所得課税制度の見直しに伴うものです。

〔議案第55号〕 原案可決

古平町高齢者複合施設「ほほえみくらす」の設置及び管理に関する条例

高齢者複合施設の設置や管理に関する事項を定めるものです。

〔議案第56号〕 原案可決

古平町水産物流通荷さばき施設の設置及び管理に関する条例案

水産物流通荷さばき施設（市場）の設置や管理に関する事項を定めるものです。

〔議案第57号〕 原案可決

古平町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

地方税法の改正による株式等に係る分離課税の変更に伴い、国保税の所得割の算定基礎の条項を改正するものです。

〔議案第58号〕 原案可決

平成25年度古平町高齢者複合施設整備工事請負契約の変更について

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、変更内容について議会の議決を求めるものです。

〔諮問第1号〕 原案同意

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員に坂下肇一氏を推薦することについて、議会の意見を求めるものです。

12/25 (水)

「陽気なサンタクロースに園児は大興奮」～幼児センター クリスマス会



サンタクロースからのプレゼントに喜ぶ園児たち

毎年恒例の幼児センターのクリスマス会が12月25日、同センターで開かれ、園児60人が歌や踊り等を楽しみました。会では、園児はサンタやトナカイの飾りが付いた帽子をかぶり、「あわてんぼうのサンタクロース」を元気に歌うことや、「ジングルベル」の曲に合わせて踊ったりしました。また職員が扮したサンタクロースが現れると、園児は大興奮で「サンタさんはどこに住んでいるの?」などと質問していました。最後にはサンタクロースから園児一人一人にプレゼントが配られ、顔をほころばせていました。

渡部碧斗君は「楽しいサンタさんだった。プレゼントもうれしい」と笑顔を応えてくれました。

12/25 (水)

「現金管理と戸締りをしっかりと」～古平町防犯協会 歳末防犯パトロール



各商店などを回り、注意を呼びかける参加者たち

全道一斉の歳末特別警戒(12月15～31日)に合わせ、古平町防犯協会(内田正雄会長)が12月25日夜、「歳末防犯パトロール」を行いました。消防団員や警察署員など約30人が参加。

パトロールでは、参加者は3班に分かれ、町内の各商店を回り、「現金管理と戸締りをしっかりと」、「火の用心」、「飲酒運転をしない・させない」と啓発品を配りながら呼びかけました。

またパトロールに先立ち、文化会館で行われた出陣式では、内田会長が「パトロールのような活動の積み重ねが、犯罪の抑止力の一助になります。皆さんの協力をお願いします」と挨拶していました。

1/4 (土)

「威勢の良いかけ声が飛び交う」～古平地方卸売市場 初競り



カレイなどが取引された東しゃこたん漁協古平地方卸売市場

新年を迎えた東しゃこたん漁協古平地方卸売市場で1月4日、初競りが行われ、威勢の良いかけ声が場内に響き渡っていました。

競りに並んだのは、古平沖で水揚げされたカレイやヒラメなどおよそ200箱。競り入らの声が飛び交う中、次々に競り落とされました。

競りに先立ち、東しゃこたん漁協の杉山賢組合長は「燃油高騰や消費税の増税など厳しい状況は続きますが、今年一年、大漁と海難事故のない穏やかな浜となるよう祈っています」と挨拶。最後は三本締めで今年一年の豊漁を願っていました。

1/4 (土)

「新春の運だめし」 ～ かつたら君カード会 お年玉抽選会



千円札のつかみ取りに挑戦する女性

古平町かつたら君カード会が主催する「お年玉抽選会」が1月4日、文化会館で行われ、58人が新春の運だめしを行いました。

ポイントカード「かつたら君カード」が満点で1回の抽選が出来、賞品は特賞の千円つかみ取り2本のほか、1等の硬貨つかみ取りが6本、2等が9本など当たり総数は200本でした。ハズレても町内28店舗で使用できる500円分の商品券が参加賞となります。

会場では、特賞の千円つかみ取りが出ると、大きな拍手が沸き起こり、特賞を当てた女性は「当たると思っていないでびっくりした。今年は運が良いかも」と笑みをこぼしていました。

1/11 (土)

「海上安全・豊漁祈願」 ～ 古平救難所出初め式・船魂祭



上段：救難所出初め式。下段：船魂祭



海難救助活動を行う古平救難所の出初め式と船魂祭が1月11日、東しゃこたん漁協本所で行われました。

24人が出席した出初め式では、松尾英二所長が「海洋レジャーの進展に伴い、救難所を取り巻く環境が多様化している。関係者のご指導とご支援を受けながら、救助活動に万全を尽くしたい」と挨拶し、所員一同、心をあらたにしていました。古平における海難事故は4年間発生していません。

また、船魂祭では祭壇が作られ、出席者26人による玉串奉奠などが行われ、海上安全や豊漁祈願、漁家の繁栄が祈念されました。

1/11(土)～17(金)

「わからない部分をしっかりと理解するために」 ～ 冬休みレベルアップ大作戦



音読に取り組む児童たち

小学生の学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指す「冬休みレベルアップ大作戦（教育委員会主催）」が1月14日から4日間の日程で行われ、小学1～6年生の16人の児童が参加し、国語や算数のプリント学習などに取り組みました。指導は地域のボランティア3人が担当。

児童はプリントを解き、分からない部分をマントゥーマンで教えてもらいました。夏・冬休みの恒例となった同作戦は、今回から声に出して文章を読む「音読」を取り入れ、しっかりと文章内容を理解する訓練も行われました。

6年生の梅内菜由さんは「分からない部分を教えてもらい、しっかりと理解したくて参加した」と話してくれました。

生活習慣病を予防する 「たばこ」生活習慣病 の関係

喫煙は、肺がんや咽頭がん、脳卒中、心筋梗塞、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病及び歯周病など様々な病気を引き起こす原因となります。厚生労働省でも、国民の健康づくりの指標である「健康日本21（平成25～34年度）」において、成人の喫煙率を19.5%から12%まで減少させることを目標に掲げています。

【古平町民の喫煙状況は？】

平成24年度の古平町の健康診断を受診した方の喫煙状況は、男性受診者が33.7%、女性受診者は11.5%と全国状況よりも高い状況となっています。（表1参照）

その一方で受診者のうち男性のほぼ半数近く、女性では一割の方が「たばこをやめた」と回答しており、既にご自分や家族の健康のために禁煙に取り組んでいる方も多くみられました。中には一日60本吸っていたのを止めたという強者もいました。

表1 喫煙者の割合（国民健康・栄養調査より）

	男性	女性	総数
全国(H23)	32.4	9.7	20.1
全道(H23)	31.6	11.9	21.0
古平町(H24)	33.7	11.5	18.8

※古平町：健診受診者287名（男女比1：2）の状況

【たばこの煙の害】

たばこの煙は、四千種類以上もの化学物質で構成されており、有害物質が二百種類以上も含まれています。特に有害なのが、タール（強い発がん性）、ニコチン（依存性、血管収縮）、一酸化炭素（酸素不足による息切れ、疲れやすさ、発育不良等）です。

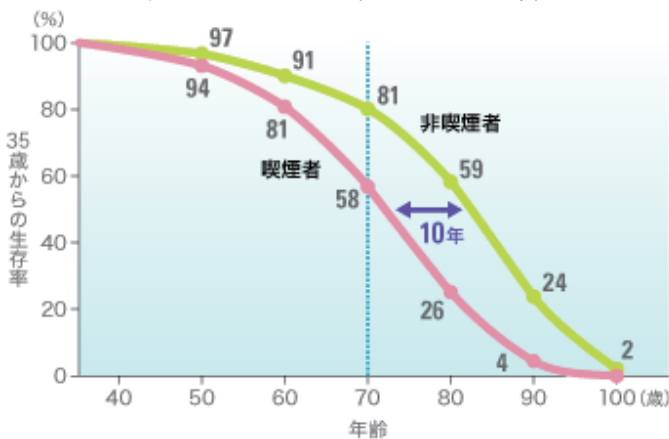
また、他人のたばこの煙を吸うことで、同じような影響を受けますが、これを受動喫煙と言います。喫煙者

は、妊婦や小さい子供の前では配慮が必要だと考えられます。

【喫煙者は長生きできない？】

たばこを吸い続けることで、寿命が十年間も短くなり、35歳の方が70歳まで生きる割合は、吸わない人の81%に対し、58%まで下がるという報告もあります。（図1参照。英国人医師による調査データ）
ヘビースモーカーの方が、10年間禁煙を続けると寿命を取り戻すことができるとも言われています。

図1 喫煙が寿命に与える影響



【禁煙して病気の症状が改善】

たばこを止めて、病気の症状が改善されることが多々あります。例としては、「せきや痰が出なくなった」「血圧が下がった」「胃腸の調子が良くなり、便通が良くなった」「息切れがしなくなり、動きやすくなった」等です。

たばこを吸うと血管が収縮し、血圧が上がります。また、悪玉（LDL）コレステロールが血管にたまりやすくなり、動脈硬化を防いでいる善玉（HDL）コレステロールも減ってしまいます。そのため、動脈硬化が発生しやすくなり、悪化もしてしまいます。

健康診断の結果で、血圧・血糖・悪玉コレステロール等が高いと指摘されたことのある方は、喫煙することによって、「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症」などの生活習慣病を発症しやすくなります。既に治療されている方は、脳梗塞や心筋梗塞といった深刻な状態を防ぐためにも禁煙することが大切です。

【お問合せ先】

保健福祉課 健康推進係

☎ 42-2182（内線11）



4000個の電飾が夜空を彩る

29回目の役場前イルミネーション



役場前のイチヨウやオノコの木計3本に取り付けられた豆電球4千個のイルミネーションが、12月21日から1月5日までの間、通行人の目を楽しませてくれました。

町の出来事

町の若手職員でつくる実行員会が企画し、今年で29回目。自主制作したカレンダーの販売収入などで35万円を集め、設置費用や電気代などを賄いました。

12月21日の点灯式では、例年になく降雪が少なかつたため、ホワイトイルミネーションとはなりませんでしたが、赤・青・白の電飾が光ると、190人の参加者から大歓声と拍手が沸き起こりました。お菓子の詰め合わせがもらえるビンゴゲームも行われ、子供たちは一足早いクリスマスプレゼントに顔をほころばせていました。



ビンゴゲームも行われたイルミネーション点灯式

小学1年の木村柑菜さんは「イルミネーションが付いた時、周りが明るくなり、きれいでうれしくなりました」と話してくれました。

筆のびのび 輝く個性!

小中学生40人が書き初め

新年恒例の書き初め大会（教育委員会主催）が1月8日、文化会館で行われ、子供たちが元気に筆を走らせました。

館ロビーに展示されました。



参加したのは小中学生約40人。筆に墨をたっぷりつけ「美しい空」（小学4年）、「自然を守る」（同6年）、「無限の可能性」（中学3年）など学年ごとの手本を見ながら書き上げていました。

子供たちは、書道教室を開いている三浦愛子さん（浜五）の指導を受けながら、長さ約百三十センチの画仙紙に向かい、個性あふれる作品を仕上げていました。

小学6年の三浦歩夏さんは「力強さとバランスに気をつけ、自分なりに納得するものが書けた」と満足そうに話してくれました。

この日書き上げた子供たちの作品は、1月14日から17日まで、文化会



手本を見ながら真剣に筆を走らせる小中学生

国や道などからのお知らせ

【各種自衛官等の募集】

自衛官候補生(男子)、予備自衛官補(一般・技術)、一般幹部候補生(一般・歯科・薬剤)、医科・歯科幹部を募集します。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所(小樽市稲穂2 22 4 樽石ビル2F)

☎0134-225521

【さくらます船釣りライセンス制】

船釣りライセンス制は、さくらます資源の保護と適切な魚場利用調整を図るため、海区漁業調整委員会の指示に基づき、一定のルールのもとで船釣りを行う仕組みです。

実施期間 平成26年3月1日～平成26年5月15日

ライセンス証などの詳細については左記にお問い合わせください

◇お問い合わせ先

後志管内さくらます船釣りライセンス実行協議会事務局
☎0134-225138

【多重債務・金融一般出張相談会(小樽会場)の実施について】

北海道財務局では、借金返済の悩

みを抱えている方からの相談を受け付け、専門の相談員が無料で、相談者にあつた解決方法を提案しています。また預金、融資、保険など金融商品・サービスに関するご質問・ご相談も受け付けています。

日時 平成26年2月18日(火)

午前9時～午後5時(相談受付は午後4時まで)

場所 小樽地方合同庁舎(小樽市港町5番2号)

お問合せ先 北海道財務局相談員

☎011-807-5144

【確定申告のお知らせ】

平成25年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告期間は、2月17日(月)～3月17日(金)までです。

確定申告書は、国税庁のホームページの「確定申告書作成コーナー」で作成し、印刷して郵送等により提出することができます。

税務署などの申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」、確定申告に必要な書類及び印鑑を持参してください。

税務署の閉庁日(土・日曜日、祝日等)は、税務署での確定申告の受付は行っておりません。

確定申告書等作成コーナー

<https://www.keisan.nta.go.jp>

◇お問い合わせ先

余市税務署 ☎22-2093

【復興特別所得税について】

平成25年から平成49年までの各年分の申告については、復興特別所得税を所得税と併せて申告・納付することとされています。

復興特別所得税は、各年分の基準所得税額(所得税額から差し引かれる金額を差し引いた後の所得税額)に2.1%の税率を乗じて計算します。

また、平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間に生じる所得については、源泉所得税の徴収の際に復興特別所得税が併せて徴収されます。

◇お問い合わせ先

余市税務署 ☎22-2093

【公的年金等を受給されている方】

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告が不要です。(源泉徴収された税額の還付を受ける場合は、確定申告書を提出することができます。)

税務署への確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことは、役場財政課課税係へおたずねください。

◇お問い合わせ先

余市税務署 ☎22-2093

役場財政課課税係

☎42-2181(内線31・32)

【後志広域連合 税務課からのお知らせ】

町村税(町村民税及び固定資産税、軽自動車税)や国民健康保険税は、各町村の貴重な自主財源です。

財源が不足すると、住民サービスに影響を及ぼしかねないため、高額、長期の滞納者、納税の意思がみられない悪質滞納者は、広域連合で引継ぎ、財産差押等の厳しい滞納処分を実施いたします。

【2013年度冬季節電へのご協力をお願い】

平成22年度比マイナス6%以上を目標とする節電につきましては、次の期間・時間帯においてご協力をお願いいたします。

○平成25年12月9日(月)～平成26年3月7日(金)の平日16時～21時
高齢者、障害のある方々など、それぞれの出来る範囲内で無理のないご協力をお願いいたします。

ふるびら元気っ子

町内に住む満1歳になる子どもを紹介します。
今月号は1月に誕生日を迎えた子どもたちです。



ちさと
久保田 千理 ちゃん
1月25日生
保護者 祐介さん
しのぶさん
(浜三)
(しのぶさんより)
思いやりのある子に
育ってほしい



ねね
入間川 音々 ちゃん
1月3日生
保護者 亮さん
名津子さん
(丸山町)
(名津子さんより)
明るくて、元気な子に
育ってほしい

古中バドミントン部、町長を訪問

昨年12月20日、古平中学校バドミントン部の男子2人が、今月11日、12日に開催された「北海道中学生新人バドミントン大会」へ出場するため、本間町長を訪問し、力強く「全道大会でがんばってきます」と決意表明しました。
全道大会は小樽市総合体育館で開催され、木村颯真・大島遥希ペアがダブルスで出場しました。惜しくも帯広第一中学校に1回戦で敗退してしまいました。



力強く決意表明をした木村君(写真右)と大島君(写真左)

2月7日 北方領土の日

1855年(安政元年)2月7日伊豆の下田で「日露通好条約」が結ばれ、日本とロシアは択捉島とウルップ島の間に国境を定め、択捉島以南の北方四島を日本の領土として国際的に明らかにしました。

この歴史的な意義を持つ2月7日は、平和的な話し合いで領土返還を要求する北方領土返還要求運動推進の目的に最も適した日であることから、「北方領土の日」として設けられています。

2月7日を中心とした1ヶ月間(1月21日(火)～2月20日(木))を北海道独自に「北方領土の日特別啓発期間」として定め、重点的な四島返還要求運動の実施を図ります。啓発事業等を展開いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ
北方領土復帰期成同盟後志支部
☎0136-22-0216

2月の休日当番病院

◆2月2日(日)
よいちクリニック
(☎21 4570)

◆2月9日(日)
よいち整形外科クリニック
(☎48 5000)

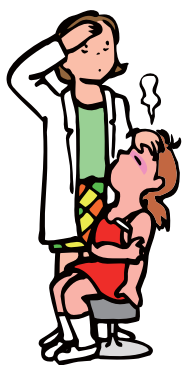
◆2月11日(火)
脳神経外科よいち港南クリニック
(☎21 5566)

◆2月16日(日)
わたなべ内科医院
(☎22 3989)

◆2月23日(日)
北郷耳鼻咽喉科医院
(☎23 5533)

※当番医の診療時間は9時～17時まで
※夜間については余市協会病院で急患に限り診療しております。

診療時間 午後6時～翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、
整形外科



いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会

知人より蘭の鉢植をもらひしが仔蘭なのかたのしみ花待つ
 一年をふり返りみる師走かな充実した日々過ぎせだやうな
 冬雀木々の梢に群れていて夕日追ひつつ飛び立ちゆけり
 久々に晴れしこの朝新雪はやはらかに藍をおびて積れる
 町内の餅搗き会は賑やかに年代越えて楽しむとき
 外国の人らも共に女性コーラス三十年の史ホールにわたる
 年重ね夫と二人の生活もいつとはなしに情性に流るる

泉 清三
 金子 寿子
 坂本 信子
 鈴木 時子
 田中 香苗
 寺田 カツ子
 仲谷 喜美能

古平俳句会

ふるさとの味満載の三平汁
 冬の海海猫と鳩のいがみ合ひ
 降る雪に門燈かすか薄あかり
 古日記喜怒哀楽の事のせて

波 辺 嘉 之
 室 谷 弘 子
 仲 谷 比 呂 子

燈明のかすかに揺れて神の留守
 つつがなく神を送りて浜仕事
 波あらばなみに乗りたる浮寝馬
 短日や外の仕事の残りたる

山 口 悦 子
 高 橋 重 子
 山 口 哲

静かなる山間の宿暮早し
 もどり道急ぐ車に冬の月
 冬の空水平線を呑み込めり
 いつもより歩み速めて師走かな



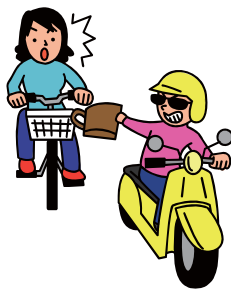
まちの事件簿



平成25年（1月1日～12月31日）
 中において発生した事件・取扱件数は次のとおりでした。

◆刑法犯関係

- ・事務所荒らし 2件
- ・空き巣ねらい 2件
- ・倉庫荒らし 3件
- ・自動販売機ねらい 6件
- ・車上ねらい 1件
- ・器物損壊 1件
- ・暴行事件 3件
- ・その他（かっぱらい） 2件



◆交通事故関係（ ）内は負傷者数

- ・人身事故 2件（4人）
- ・物損事故 50件

【余市警察署古平駐在所
 ☎42-2044】

ご寄付いただき誠に
 ありがとうございます（敬称略）
 ◎現金
 50,000円 堀 賢 一（素穂苗舎）
 10,000円 石田 佳 雄（札幌市）
 100,000円 小玉 キヨ（港 町）
 100,000円 池田 由久（旭 町）
 100,000円 大島 豊彦（丸山町）

おたんじょうおめでとう

氏 名 生年月日 保護者 町内
 五十嵐なつちゃん 12・26 竜太さん 旭 町

ご冥福をお祈りいたします

氏 名	年齢	死去月日	町内
熊谷 芳夫さん	87歳	12・13	浜 1
吉田 トミさん	86歳	12・13	沢江町
池田 テルさん	97歳	12・26	旭 町
大島ヒロ子さん	80歳	12・31	丸山町
小玉 繁雄さん	88歳	12・31	港 町

町の人口と世帯数		
	前月比	
人口	3,487人	(1)
男	1,636人	(1)
女	1,851人	(0)
世帯数	1,857世帯	(- 1)
外国人	25人	(0)
男	2人	(0)
女	23人	(0)

(平成25年12月末日現在住民基本台帳人口)